

授業科目(ナンバリング)	臨床医学入門Ⅱ (IA220) (実践的教育科目)			担当教員	廣田 昌彦 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本科目では、管理栄養士に必要な各種の疾病の病態、診断法、治療法の基礎的事項、及び重要な疾患について、その診断法、治療法、予防法を学習する。さらに、治療法では、現在行われている最新の医療を含めて幅広く解説する。この授業により、臨床医学の基礎と専門の知識を身に付けることが目標である。							② ③ ⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	様々な疾患に対する専門的知識を体系的に理解し、その知識を臨床の場面で臨機応変に活用することができる。					・定期試験 ・小テスト	60% 15%
情報収集、分析力	臨床医学に関する情報を収集するためのツールやメディアの特性について理解し、必要な情報を効率的に収集することができる。					・定期試験 ・小テスト	10% 5%
協働・課題解決力	臨床医学に関する課題を的確に把握し、他の人と協力して、課題解決に向けた方策を立案し、着実に実行できる。					・授業態度・授業への参加度	10%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価点は、定期試験の結果を70%とし、10回目に実施する小テストの結果を20%として算定する。授業態度・授業への参加度は、授業中の態度、取り組み、関心・意欲、質問等に対する返答で、10%として評価する。小テストについては、授業において解説し、フィードバックする。							
授 業 の 概 要							
外科医としての臨床経験に基づき、本授業は、各項目に要点を整理したプリントを配布し、解説を加える。実際の医療の場面に即した、パワーポイント、ビデオ、DVDなどの視聴覚教材を使用する。臨床医学的な検査法などについては、一部実習の形で行う。授業中に多くの質問をし、その答えについて、個人、全体でディスカッションをする時間をとっている。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書： 特に指定しない。授業ごとにプリントを配布する。 参考書： 栄養科学シリーズNEXT「臨床医学入門」第2版 武田英二、河田光博、編. 講談社（東京） 指定図書： 栄養科学シリーズNEXT「臨床医学入門」第2版 武田英二、河田光博、編. 講談社（東京）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
本授業は、主に栄養学との関連が深い内科的な疾患を多く取り上げて学修する。あらかじめ伝えた次回の授業の内容について、自分で調べて大まかな把握をしておくこと。この分野の診断や治療法は、日進月歩であり、授業外でも、常に社会に目を開き、新聞、ニュース、その他から新しい情報を収集するようにして欲しい。授業で学修した医学的な知識を実際の臨床の場で的確に応用出来るように研鑽を積まれるよう期待する。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	疾患診断・治療の概要	1 一般的な診察法（問診、聴診、打診、脈拍など） 2 主な症候（頭痛、腹痛、発熱など） 3 一般的検査法（検尿、血液・生化学、心電図など） 4 一般的な治療	一般的な診察法、検査法、治療法についての復習。悪性腫瘍の予習
2	悪性腫瘍	悪性腫瘍の成因・病態・診断・治療の概要	悪性腫瘍の診断・治療についての復習。代謝性疾患の予習
3	代謝性疾患	特に糖尿病について、成因、診断、治療法（食事療法を中心に）の概要	糖尿病の食事療法についての復習。内分泌疾患の予習
4	内分泌疾患	内分泌疾患（特に甲状腺、下垂体疾患）の成因・病態・診断・治療の概要	内分泌疾患についての復習。免疫・アレルギー疾患の予習
5	免疫と生体防御	免疫・アレルギー疾患の成因・病態・診断・治療の概要	免疫・アレルギー疾患についての復習。腎・尿路系疾患の予習
6	腎・尿路疾患	1 体液・電解質の異常について 2 腎・尿路疾患（腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全）の成因・病態・診断・治療の概要	体液・電解質の異常、腎・尿路疾患の復習。消化器疾患の予習
7	消化管疾患	消化管疾患の成因・病態・診断・治療の概要	消化管疾患の病態・食事療法についての復習。肝胆膵疾患の予習
8	肝胆膵疾患	肝胆膵疾患の成因・病態・診断・治療の概要	肝胆膵疾患の病態・食事療法についての復習。循環器疾患の予習
9	循環器疾患	1 循環障害 2 循環器疾患（特に虚血性心疾患）の成因・病態・診断・治療の概要	循環器疾患の病態・診断・治療についての復習。神経・精神疾患の予習
10	神経・精神疾患	1 感覚器・神経疾患の病態・診断・治療の概要 2 摂食障害の成因・病態・診断・治療の概要 3 精神疾患の成因・病態・診断・治療の概要 小テスト	神経・精神疾患についての復習。呼吸器疾患の予習
11	呼吸器疾患	呼吸器疾患（特に気管支、肺の気質的・機能的疾患）の成因・病態・診断・治療の概要	呼吸器疾患についての復習。血液疾患の予習。
12	血液疾患	血液疾患（特に各種の貧血、白血病、血液凝固・線溶異常症などの）成因・病態・診断・治療の概要	血液疾患の病態・診断についての復習。運動器疾患の予習。
13	運動器（筋骨格）疾患	運動器（筋骨格）疾患（特に骨粗鬆症、骨折、関節の疾患など）の成因・病態・診断・治療の概要	運動器（筋骨格）疾患の診断・治療についての復習。感染症の予習。
14	感染症	1 感染症の基礎知識（感染症法、感染経路など） 2 細菌感染症（特に結核、MRSA、腸管出血性大腸菌感染症などの）成因・病態・診断・治療の概要 3 ウイルス性感染症の成因・病態・診断・治療の概要	感染症の病態、感染予防についての復習。救急医療の予習。
15	救急医療	一次救急（AEDを含めたBLS）、二次救急、三次救急のシステム、制度の概要	救急医療、AED使用法についての復習。
16	定期試験		